

言語研究法 ('19)

第8回 形態論②

8-1

1

言語研究法 ('19) 第8回 形態論②

形態論と文法

(<第11講> & <第13講>)

2

今回のポイント

- 形態素と異形態
 - 形態素をどのように認定するか？
 - 日本語の形態論における活用の捉え方
- 形態論と言語変化
 - 体系の歪みと形態の変化
- 語と文法
 - 語が文法を表す仕組み

3

<第11講> 形態素と異形態

■英語の例：名詞の複数形接辞 s

<例> maps [s], hills [z], churches [iz]

形態素としても「複数形の s」でどうか？
 ちょっと待った！ s だけでなく z も iz もある…
 どう考えたらよいか？
 形態素は何で、3つある形式をどう説明するか？

4

英語の複数形接辞（続）

<例> maps [s], hills [z], churches [iz]

[s] と [z] の違いは有声性、直前の各音も無声／有声
 → 語末の有声性を受け継ぐ形で [s] か [z] になる？
 [iz] は？ 語末が /s, z, ʃ, tʃ, ð/ のとき
 → [歯茎摩擦・破擦音] の後ろでは [iz] になり、
 → それ以外では、[+有声性] の後ろで [z] に、
 [−有声性] の後ろで [s] になる

言語研究法 ('19)

第8回 形態論② 8-1

5

英語の複数形接辞（続）

<例> maps [s], hills [z], churches [iz]

[s]と[z]の違いは有聲性、直前の各音も無声／有聲

→ 語末の有聲性を受け継ぐ形で [s] か [z] になる？

[iz] は？ 語末が /s, z, ʃ, tʃ, ð/ のとき

→ [歯茎摩擦・破擦音] の後ろでは [iz] になり、

→ それ以外では、[+有聲性] の後ろで [z] に、
[-有聲性] の後ろで [s] になる

6

英語の複数形接辞（続々）

<例> maps [s], hills [z], churches [iz]

・形態素をどう認定したらよいか？

一般性の高い形態を優先すべき → s か z か

s と z のどちらの説明力が高い？

形態素から他の形が導き出せるとよい

→ 形態素を z とすれば、[歯茎摩擦・破擦音] の
後ろで [z] の前に [i] を挟むものと説明できる

7

英語の複数形接辞（まとめ）

複数形接辞の形態素： z

異形態： /z, s, iz/

異形態を導く規則：

z → iz / [歯茎摩擦・破擦音] _

([歯茎摩擦・破擦音] の後では z の前に i を挟め)

→ s / [非歯茎摩擦・破擦音, 無聲音] _

→ z / 上記以外 _

([非歯茎摩擦・破擦音, 有聲音] の後と同義)

8

英語の複数形接辞（まとめ）

Q. これではダメ？

複数形接辞の形態素： s → 合理性が弱く不経済

異形態： /s, z, iz/

異形態を導く規則：

s → iz / [歯茎摩擦・破擦音] _

([歯茎摩擦・破擦音] の後では s を z に変えて、
その z の前に i を挟め)↑
なんで必要??

言語研究法 ('19)

第8回 形態論② 8-1

9

活用形をどう捉えるか？①

■日本語の動詞活用 of 形態素分析

<例> 「読む」 (五段活用)

読まない・読もう jom-a-nai, jom-o-u

読みます・読んで jom-i-masu, jon-te (<jom-i-te)

読む(とき) jom-u

読めば jom-e-ba

読め jom-e

10

活用形をどう捉えるか？①

■日本語の動詞活用 of 形態素分析

<例> 「読む」 (五段活用)

読まない・読もう jom-a-nai, jom-o-u

読みます・読んで jom-i-masu, jon-te (<jom-i-te)

読む(とき) jom-u 撥音便

読めば jom-e-ba

読め jom-e

11

活用形をどう捉えるか？①

■日本語の動詞活用 of 形態素分析

<例> 「読む」 (五段活用)

読まない・読もう jom-a-nai, jom-o-u

読みます・読んで jom-i-masu, jon-te (<jom-i-te)

読む(とき) jom-u

読めば jom-e-ba

読め jom-e 活用形をつくる接辞

12

活用形をどう捉えるか？① (続)

■動詞「読む」の場合

語幹の認定: jom? jon?

→ jon は音便形だから jom で認定しよう

でも、jon は何だと言えいいか？

↓
音素と異音の関係にならない、

形態素 jom の異形態: /jom/ /jon/ (の2種)

第8回 形態論② 8-1

13

活用形をどう捉えるか？① (続)

■動詞「読む」の場合

語幹の認定: jom? jon?

→ jon は音便形だから jom で認定しよう

でも、jon は何だと言えればいいか？

↓
音素と異音の関係にならい、

形態素 jom の異形態: /jom/ /jon/ (の2種)

14

活用形をどう捉えるか？②

■日本語の動詞活用 of 形態素分析

<例> 「食べる」 (下一段活用)

食べない・食べよう tabe-nai, tabe-jo-u

食べます・食べて tabe-masu, tabe-te

食べる tabe-r-u

食べれば tabe-r-e-ba

食べろ tabe-r-o

15

活用形をどう捉えるか？②

■日本語の動詞活用 of 形態素分析

<例> 「食べる」 (下一段活用)

食べない・食べよう tabe-nai, tabe-jo-u

食べます・食べて tabe-masu, tabe-te

食べる tabe-r-u

食べれば tabe-r-e-ba

食べろ tabe-r-o

16

活用形をどう捉えるか？②

■日本語の動詞活用 of 形態素分析

<例> 「食べる」 (下一段活用)

食べない・食べよう tabe-nai, tabe-jo-u

食べます・食べて tabe-masu, tabe-te

食べる tabe-r-u

食べれば tabe-r-e-ba

食べろ tabe-r-o

←動詞をつくる接辞

第8回 形態論② 8-1

17

語幹から見た日本語動詞のタイプ

動詞のタイプ 例と語幹

■五段タイプ

五段活用 <例> 「読む」 jom-

■一段タイプ

一段活用 <例> 「食べる」 tabe-

カ行変格活用 「来る」 ku, ko, ki-

サ行変格活用 「する」 su, si, se-

18

語幹から見た日本語動詞のタイプ

動詞のタイプ 例と語幹

■五段タイプ

五段活用 <例> 「読む」 jom-

■一段タイプ

一段活用 <例> 「食べる」 tabe-

カ行変格活用 「来る」 ku, ko, ki-

サ行変格活用 「する」 su, si, se-

19

語幹から見た日本語動詞のタイプ

動詞のタイプ 例と語幹 語幹末に注目

■五段タイプ

五段活用 <例> 「読む」 jom- 子音動詞

■一段タイプ

一段活用 <例> 「食べる」 tabe-

カ行変格活用 「来る」 ku, ko, ki- 母音動詞

サ行変格活用 「する」 su, si, se-

20

では「異形態」について問題練習を

Q. 古代日本語にはAやBのような現象があった。
それぞれ説明を試みたい。A サケ（酒）：サカダル（酒樽）
キ（木）：コモレビ（木洩日）B アメ（雨）：ハルサメ（春雨），コサメ（小雨）
イネ（稲）：タバシネ（束稲），ミシネ（御稲）

言語研究法 ('19)

第8回 形態論②

8-1

21

では「異形態」について問題練習を（続）

A sake : saka-daru

ki : ko-more-bi

B ame : haru-same, ko-same

ine : taba-sine, mi-sine

共通点： 形態素境界にある母音に生じる現象

個別的観察： Aは母音自体の交替現象、Bは母音への語音添加

Aは、後ろに形態素が付いて複合語が形成される場合の母音交替
/saka-/ /ko-/ は、/sake/ /ki/ に対する異形態（拘束形式）Bは、複合語が形成されて母音連続が生じる場合の音添加
/-same/ /-sine/ は、/ame/ /ine/ に対する異形態（拘束形式）

言語研究法 ('19)

第8回 形態論② 8-2

22

<第13講> 形態論と言語変化①

■ラ抜き言葉とは何か？－考慮すべきこと

- ・とりあえず：「見られる」「食べられる」などと言うべきところで「見れる」「食べれる」となって、ラが脱落するように見える現象
- ・問題の助動詞「(ら)れる」には意味が4つもあるのに、ラ抜きになるのはうち1つだけという事実
- ・動詞のタイプとしては、語幹が母音で終わる母音動詞だけが対象となるという前提的事実

23

形態論と言語変化①：ラ抜き言葉（続）

- ・部分だけ見ずに体系全体で考える習慣を！
では従来の体系とラ抜きの体系を比較してみる

従来の体系

動詞のタイプ	母音動詞 (一段タイプ)	子音動詞 (五段タイプ)
<例>	「食べる」「着る」	「読む」「切る」
語幹	tabe- ki-	yom- kir-
<可能>	-rareru	-eru
<自発／受身／尊敬>	-rareru	-areru

24

形態論と言語変化①：ラ抜き言葉（続）

- ・わかること
動詞のタイプ×意味で 2x2 なのが、そう分かれていない！

従来の体系

動詞のタイプ	母音動詞 (一段タイプ)	子音動詞 (五段タイプ)
<例>	「食べる」「着る」	「読む」「切る」
語幹	tabe- ki-	yom- kir-
<可能>	-rareru	-eru ←可能動詞
<自発／受身／尊敬>	-rareru	-areru

25

形態論と言語変化①：ラ抜き言葉（続々）

- ・変わったのはどこか？
2x2 のうちの1箇所、母音動詞の<可能>のところだけ

ラ抜き言葉の体系

動詞のタイプ	母音動詞 (一段タイプ)	子音動詞 (五段タイプ)
<例>	「食べる」「着る」	「読む」「切る」
語幹	tabe- ki-	yom- kir-
<可能>	-reru	-eru
<自発／受身／尊敬>	-rareru	-areru

形態論と言語変化①：ラ抜き言葉（続々）

・そのことで体系はどう変わった？

2x2 に整理され、かつ動詞のタイプによらないことに

ラ抜き言葉の体系

動詞のタイプ	母音動詞 (一段タイプ)	子音動詞 (五段タイプ)
<例>	「食べる」「着る」	「読む」「切る」
語幹	tabe- ki-	yom- kir-
<可能>	-reru	-eru
<自発／受身／尊敬>	-rareru	-areru

5

10

15

20

25

30

35

言語研究法 ('19)

第8回 形態論②

8-3

27

語と文法

■文法範疇（文法カテゴリー）

その言語で文をつくるときに表されなければならない
文法的要素

<例> 名詞の性、数、人称、定不定

動詞の時制、相、法、態、肯定否定（極性）

名詞や動詞の敬語（対 非敬語）

28

英語の文法範疇

Q. ①～③の語句で、直接関係している文法範疇は何？

① her books

性、人称、数、格、定不定（定性）

29

英語の文法範疇

Q. ①～③の語句で、直接関係している文法範疇は何？

① her books

性、人称、数、格、定不定（定性）

② he loves money

性、人称、数、格、時制、態、肯定否定（極性）、定性

30

英語の文法範疇

Q. ①～③の語句で、直接関係している文法範疇は何？

① her books

性、人称、数、格、定不定（定性）

② he loves money

性、人称、数、格、時制、態、肯定否定（極性）、定性

③ I have been deceived

人称、数、格、時制、相、態、極性